

「災害支援ナース養成研修」開催要項

1. 研修目的

- 1) 災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。
- 2) 応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。

【災害】

- (1) 看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。
- (2) 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。
- (3) 看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。
- (4) 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。

【感染症】

- (1) 新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。
- (2) 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。
- (3) 酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する。
- (4) 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。

2. 研修日程・会場

- 1) 講義（オンデマンド） 令和5年12月8日(金)～令和6年1月22日(月)
※オンデマンド研修を終了した者が集合研修に参加できます。
- 2) 演習（集合研修）1日目：令和6年1月30日(火) 9:30～16:30
会場：福井県看護協会
2日目：令和6年2月9日(金) 9:30～15:30
会場：福井メディカルシミュレーションセンター
(永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学医学部附属病院隣接)

3. 対象者

災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に応援派遣されて、災害支援者看護業務及び新興感染症支援看護業務に従事することを旨とする者で、県行政(福井県)へ修了者リスト提出に同意する者。

4. 免除規定

オンデマンド研修「災害各論」については、現在福井県看護協会に災害支援ナースとして登録がある者。
オンデマンド研修「感染症各論」については、令和4年度新型コロナウイルス感染症研修のうち「重症患者対応研修」を受講した者は修了証(写)を持つ者。

また、免除対象者であっても、希望があれば、受講は可能です。

5. 定員

30名

6. 受講料

無料

7. 申込方法

申込用紙を記載のうえ、メールで応募ください。申込みは、看護管理者が施設で取りまとめてお申込みください。所属施設のない者(潜在看護職)は個人単位での申し込みになります。

申込後、受講の詳細についてはこちらからご連絡いたします。

8. 申込締切

11月30日(木) 12:00

9. その他

1) 新たな災害支援ナースの詳細については、日本看護協会ホームページでご確認ください。

(参考文献：日本看護協会機関誌「看護」7月号・日本看護協会ニュース10月号)

2) 全ての研修プログラムを修了された修了者には研修修了書を発行いたします。

<お問い合わせ> 公益社団法人福井県看護協会

TEL：0776-54-7103 TEL：0776-43-9311 (教育課直通)

E-mail：kyouiku@kango-fukui.com

「災害支援ナース養成研修」プログラム

オンデマンド研修：日本看護協会提供 eラーニング 20 時間

受講期間	令和5年12月8日(金)～令和6年1月22日(月)	
A 総論	2 時間	災害・感染症に係る応援派遣の対応
B 災害各論 ※1)	9 時間	災害医療の基礎知識 災害時に求められる看護支援活動 災害時の感染対策 災害時の心理的変化とこころのケア 災害時の看護職の活動事例
C 感染症各論 ※2)	9 時間	新型コロナなど新興感染症の基礎知識 新型コロナなど新興感染症患者の治療と観察ポイント（軽～中等症） 新型コロナなど新興感染症患者の看護（軽～中等症） 新型コロナなど新興感染症患者の集中治療管理（重症） 新型コロナなど新興感染症患者の看護（重症）

【免除規定】

※1) 現在福井県看護協会に災害支援ナースとして登録がある者。

※2) 令和4年度新型コロナウイルス感染症研修のうち「重症患者対応研修」を受講し、
修了証（写）を持つ者。

また、免除対象者であっても希望があれば、受講は可能です。

◆A 総論・B 災害各論 C 感染症各論の受講証明書各1枚(3枚)をご自身で発行してください。

集合研修 1 日目にご持参ください。受付時に確認させていただきます。

オンデマンド研修の受講の修了が確認できない場合は集合研修の受講ができません。

【講義】

時間	プログラム		ねらい	講師
50分	講義	福井県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動	災害時および感染症の発生・まん延時の看護職の活動の実際を想定することができる	沖 智子 福井県健康福祉部 地域医療課 参事
10分	講義	災害支援ナースとしての心構え	応援派遣に際し、受援者や支援者が相互協力するために必要な知識を学ぶ	山田 和人 福井県立病院 災害支援ナース (災害看護委員会委員長)

【災害】災害時の看護職の活動の実際

時間	プログラム		ねらい	講師
10分	オリエンテーション			
45分	講義 ワーク	1) 派遣決定から出発までの準備 (ワーク) ・派遣決定までの調整と準備 ・派遣決定から出発までの準備 ・携行品 ・活動の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる 	朝田 和枝 福井赤十字病院 災害看護専門看護師 花房 八千代 災害看護専門看護師 山田 和人 福井県立病院 災害支援ナース
15分		2) 支援者としての心構え		
45分		3) 活動場所の違いによる活動の特徴 (医療機関、避難所)		
60分	休憩			
40分	講義 ワーク	4) CSCA (TTT) (*2) (ワーク) ・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる 	
120分		5) 方針に沿った活動 (ワーク) ・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと		
5分		6) まとめ		

*2 C ommand & Control (指揮・調整)、S afety (安全)、C ommunication (情報)、A ssessment (評価)、Triage (トリアージ)、T reatment (治療)、T ransport (搬送)

【感染症】新型コロナなど新興感染症患者の看護

時間	プログラム	ねらい	講師
10分	オリエンテーション		
60分	実技	1) 感染拡大・重症化の予防 医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など施設ごとの違いや特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ	【福井大学医学部附属病院】 松山 千夏 感染管理認定看護師 西村 一美 感染管理認定看護師
60分		2) 安楽な呼吸を保つための看護 感染予防策（PPEを装着）を実施したうえで、安楽な呼吸へのケアや日常生活援助を体験的に学ぶ	
60分	休憩		圖子 博美 クリティカルケア認定看護師 増永 唯 クリティカルケア認定看護師
60分	ワーク	3) 集中治療室内での管理 集中治療室で使用される医療機器及び生体モニターの管理及び生じやすいトラブルについての基礎的な知識を学ぶ	林 智美 救急看護認定看護師
30分		4) 多職種連携による医療提供 派遣先の医療機関等における指揮命令系統や各専門職が担う役割を理解し行動ができる	
30分		5) 患者・家族へのケア 応援派遣の際に生じる事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を理解する	
30分	6) まとめ		

※演習は、状況設定問題等を用いて一方的な講義ではなく、ワークや話し合い、体験により、学びを深める工夫を行う。

※ワークは、机上での複数人での話し合いをおこなうグループワークとする。実技は、必要物品を使用した体験学習とする。